

第 405 回 企業会計基準委員会議事概要

I. 日 時 2019 年 3 月 22 日（金） 13 時 00 分～16 時 10 分

II. 場 所 財務会計基準機構 会議室

III. 議 題

（審議事項）

- (1) 委員会運営について（非公開）
- (2) 基準諮問会議からのテーマ提言
- (3) 2019 年 4 月開催会計基準アドバイザー・フォーラム（ASAF）への対応
- (4) IASB 公開草案「不利な契約 - 契約履行のコスト」（IAS 第 37 号の修正案）へのコメントの検討
- (5) リース会計に関する検討
- (6) 実務対応報告公開草案「連結財務諸表作成における在外子会社等の会計処理に関する当面の取扱い（案）」【公表議決】
- (7) 当委員会の検討テーマについて
- (8) 専門委員の選退任

IV. 議事概要

（審議事項）

(1) 委員会運営について（非公開）

小野委員長より、企業会計基準委員会等運営規則第 3 条第 2 項に基づき川西常勤委員を新たに副委員長に指名した旨が報告された。

また、小賀坂副委員長より、「公表された会計基準等の修正及び訂正の対応方法について」の改正について説明がなされ、審議が行われた。審議の結果、同文書の改正が承認された。

(2) 基準諮問会議からのテーマ提言

湯浅基準諮問会議議長より、第 35 回基準諮問会議（2019 年 3 月 7 日開催）における審議の結果、「財務諸表を継続企業の前提に基づき作成することが適切であるかどうかの判断基準の作成」、「金利指標改革に起因する会計上の問題」を ASBJ の新規テーマとして提言することの報告を受けた。

また、基準諮問会議で提案された「企業結合会計：暫定的な会計処理の確定時における比較年度の財務諸表に関する取扱い」については、企業会計基準委員会の新規テーマとして提言しないこととなった旨の報告が行われた。

(3) 2019 年 4 月開催会計基準アドバイザー・フォーラム（ASAF）への対応

小賀坂副委員長及び川西副委員長より、2019 年 4 月開催会計基準アドバイザー・フォーラム（ASAF）の議題のうち、引当金、共通支配下の企業結合、会計方針の変更（IAS 第 8 号「会計方針、会計上の見積りの変更及び誤謬」の修正案）について説明がなされ、審議が行われた。

(4) IASB 公開草案「不利な契約 - 契約履行のコスト」（IAS 第 37 号の修正案）へのコメントの検討

川西副委員長より、IASB 公開草案「不利な契約 - 契約履行のコスト」（IAS 第 37 号の修正案）へのコメントの検討について説明がなされ、第 28 回 IFRS 適用課題対応専門委員会（2019 年 3 月 12 日開催）並びに第 81 回 ASAF 対応専門委員会（2019 年 3 月 11 日開催）及び第 82 回 ASAF 対応専門委員会（2019 年 3 月 20 日開催）における検討状況も踏まえ、審議が行われた。審議

の結果、IASB にコメント・レターを提出することが了承された。

(5) リース会計に関する検討

小賀坂副委員長より、リース会計に関する検討について説明がなされ、審議が行われた。審議の結果、すべてのリースについて資産及び負債を認識する会計基準の開発に着手することが了承された。

(6) 実務対応報告公開草案「連結財務諸表作成における在外子会社等の会計処理に関する当面の取扱い（案）」【公表議決】

小賀坂副委員長及び豊岳専門研究員より、実務対応報告公開草案「連結財務諸表作成における在外子会社等の会計処理に関する当面の取扱い（案）」について説明がなされ、審議・採決が行われた。採決の結果、字句等の修正は委員長に一任することを前提に、出席委員全員の賛成をもって公表することが承認された。

(7) 当委員会の検討テーマについて

小賀坂副委員長より、「一括取得型による自社株式取得取引に係る会計処理に関する指針」に関するプロジェクトの方向性について説明がなされ、審議が行われた。審議の結果、「一括取得型による自社株式取得取引に係る会計処理に関する指針」については、将来的な検討課題になり得るものと考えられるが、現在検討しているスキームを前提とした会計処理の検討については開発中のテーマから除外することが承認された。

(8) 専門委員の選退任

小野委員長より、金融商品専門委員会、連結・特別目的会社専門委員会、収益認識専門委員会、ASAF 対応専門委員会、IFRS 適用課題対応専門委員会の専門委員の選退任案について説明がなされ、審議が行われた。審議の結果、原案の通り承認され、委嘱等の手続を行うこととされた。

以 上